

# 19 青山 沙織 SHINKAI

## 深海魚に特化した観光交流スペース 「深海魚のテーマパーク」を戸田に!

計画達成度  
50%

代表者：青山 沙織  
構成人数1名  
活動歴4年  
主な活動地：戸田地区  
HP：  
<https://shinkaigyo.myshopify.com/>  
Mail：  
sao13ao@yahoo.co.jp

### 事業目的

沼津市の戸田地域は、過疎化が進んでおり、人口も減少の一途をたどっています。ですが、深海魚ブームもあり、深海魚を食べに来る観光客も増えてきました。

しかし、戸田には飲食店や宿泊施設は多いですが、観光拠点は少なく、通過地点となっているのが現実です。深海魚に特化した観光拠点を作り、戸田での滞在時間を増やす事を目的としています。沢山の人に深海魚や沼津市戸田地域について知ってもらい、「深海魚」を通じて観光交流人口を増やしていきます。

### 現状と目標

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、県をまたいでの移動は困難な状況にあります。

新型コロナウイルス感染拡大の状況が落ち着いた際には、すぐに受け入れることができるように、感染症対策を行った、ワークショップを企画していきます。現在は、深海魚の選別体験の実施にとどまっておりますが、今後は深海魚料理体験教室や深海魚の学びの場として活用していきます。

感染拡大が落ち着かなかつた場合に備え、ウイズコロナに沿った活動として、今後インターネット配信を活用した、深海魚のコンテンツなどの配信も検討していきます。



### 活動と成果

改修工事を行った拠点にて、合計7回35名の方に「深海魚の選別体験」を実施しました。栃木や埼玉など様々な場所から訪れました。深海魚についてのお話、実際に深海魚天井（の一食堂）を食べてもらい、その後、深海魚に触れながら選別体験、お土産で深海魚（観賞用）を持ち帰ってもらいました。

「深海魚がふわふわしておいしかった」や「深海魚はいろんな種類がいるんですね。」など様々な意見を頂戴しました。そのほかにも「戸田に初めて訪れましたが自然豊かで素敵なお店ですね。今日は戸田に泊ります。」と戸田に宿泊・観光していただき観光交流人口の増加につながりました。

穴子の研究をされている方がいたので、お土産に「穴子」をプレゼントしたところ、「スルガアナゴ」という貴重な深海魚であることがわかりました。（その後、研究機関に寄贈）その方がお土産で持ち帰った、ソコウオノエも貴重であり、論文の謝辞に名前を記載していただきました。



### 振り返り課題

深海魚の選別体験は、匂いが出るため、匂いが出ないように氷を多くし、虫除けの設置などが必要となります。

深海魚天井は、お昼の時間は忙しいので、日程によっては予約と重なるので、時間の調整が必要になります。1日に1組で開催していましたが、感染症拡大の影響が落ち着きましたら、1日10名ほどで開催したいと思います。

行政や戸田漁業協同組合・漁師とも密に連携をとり、漁師や漁協の方に協力いただき、貴重な話などを聞ける、コンテンツを増やしていきたいと思えます。

そのほかにも、沼津港のサメバーガーを加工する際に出る、廃材を使った、深海サメレザーの開発を行っているので、その革を利用したワークショップの開講も、ネット配信または、リアル開催で行うことにより、今後より沼津港との関係性を築きたいとおもいます。

### 相関図

